

**みつくら**

令和 8年 1月15日 第450号  
 発行 大瀬川活性化会議  
 編集 「みつくら」編集委員会  
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2  
 大瀬川振興センター 電話45-6472

**“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”**

約190戸へ頒布品を持って家々を訪問した。

**黒森大権現年越し祭が斎行**

12月14日に黒森大権現の年越し祭が、別当である畠山勝榮さん宅で12人の参加により厳かに斎行された。祭事は、大瀬川神楽保存会の畠山絹雄会長、熊谷和典さん、熊谷美奈子さん、熊谷雅人さんによる御神楽奏上、その後、権現舞が奉納された。この日の権現舞の獅子頭は新たに畠山絹雄さんが自ら手づくりにより制作したもので、漆が施され重みと威厳に満ちていた。また、獅子頭の幕も新調され、幕には熊谷美奈子さんの揮毫(きごう)による「奉納 令和七年元旦 黒森山大権現大瀬川神楽保存会」と印されていた。

祭事のあと直会が行われ、黒森権現様のご加護により令和7年が豊作だったことに感謝しつつ、令和8年の地域の発展を願いながら懇親を深めた。

**地元消防団による講習会開催**

12月20日に7区自治公民館で自主防災会(菅原敏幸会長)による講習会が開催され14名が参加した。

今回は、4月から新たに第13分団第2部部長になった菅原善孝さんを講師に迎え「家庭でできる防災対策」の講習だった。菅原さんから「防災対策として住宅火災対策の備えと12月8日に発生した地震で、今後も起こり得る地震に備え災害対策を再確認して大切な命と財産を守っていただきたい。また、地元の地域消防団の第13分団第2部では、団員6名、機能別団員2名となっており、人員としては満されていない状態で火事場や災害等出勤の際、団員の負担が大きく今後も引き続き勧誘してまいりますので、ご家庭の中で協力を頂き入団のお声かけをお願い致します」と話があった。続いて、菅原会長より食品用ラップの活用法8選の説明があり、「1. 水の節約」「2. スポンジの代用」「3. ロープの代用」「4. 伝言板」「5. 傷の応急処置」「6. 防寒具」「7. におい対策」「8. 防水対策」に活用できることを学んだ。

**手作り門松製作で新年迎える**

自主防災会講習会終了後に7区自治公民館(菅原清孝館長)は公民館事業の「ミニ門松製作」を13名が参加して行った。300円会費で、ミルク缶と松・竹・縄・こも・わら・造花(梅・南天)を使い、菅原久幸(高井沢)さんの指導を受けながら、剪定バサミを使って真剣に取り組み、1時間30分ほどで一对(1組2缶)のミニ門松を製作した。ミルク缶に縄でこもを結ぶところは結構難しかったが、立派に一对を完成させ、参加した皆さんから楽しかったと喜ばれていた。また、菅原久幸さんは、このほかにも7区自治公民館・山祇神社・大瀬川振興センターに門松を製作して飾っている。

**クリスマス会を開催**

たんぼぼの会(菅原文子会長)は、12月24日に九区自治

公民館でクリスマス会を開催し18名が参加した。集まった人たちは久しぶりの再会に時間前から会話の輪が広がっていた。会のはじめはクリスマス柄の紙で紙風船を作った。息を吹き入れてもなかなか膨らまないの、あちこちから笑いが漏れていた。続いて、4〜5人グループを作ってトランプの「ババぬき」をしたところ、近年家族でもトランプをすることが少なくなったためか、やり方を忘れて、「誰が負け?」などと歓声が上がった。最後に携帯電話の音楽にあわせながら「クリスマスソング」と「お正月」を楽しく歌った。午前中の短い時間だったが、帰りには「サンタのプレゼント」を頂いて家路についた。次は1月11日に「いきいき講座」を予定している。

**恒久電気柵のワイヤー(電線)を下ろす**

下大瀬川美土里の会(熊谷俊彦代表)は12月25日、富沢橋から大瀬川橋に向けて設置している恒久電気柵、延長約350メートルのワイヤー(電線)を下ろす作業を行った。恒久電気柵は簡易柵とは違い、もともと雪で破損しないよう設計されていることから、本来冬期間においても支柱やワイヤーを撤去・回収する必要はないのだが、雪の重みによってワイヤーが下がり、支柱に負荷がかかることを避けるため、ワイヤーをたるませ地面に下ろした。当日は小雨の降るあいにくの天気だったが、恒久電気柵設置を主体的に取り進めていただいた県農業普及技術課の中森農業革新支援担当課長の指導のもと、県職員2人、下大瀬川美土里の会執行部5人の計8人で行った。作業は、ワイヤーに張力を掛けている緊張具をハンドルで回転し張りを弛め、碍子(がいし:絶縁器具)からワイヤーを外し、地面に下ろして完了。延長350メートルで3段のワイヤーにかかった作業時間は約30分と短時間で終了した。今回地面に下ろしたワイヤーは春の雪解け後、再び張り直し電気を流す予定としている。

**今年の丙午(ひのえうま)は**

昨年は、5月から8月の降水量が少なかった。特に7月は約150年に一回となるほどの少なさで、山王海ダムが嵩上げ後初めての番水が行われた。なんとか稲の成熟は確保されたが、9月末頃から雨の日が続き、刈り取りの遅れや刈り残しなどの影響がでた。米の価格が1.5〜2倍となり農家にとって嬉しい反面、不安も残った。また、全国的に熊の出没が相次ぎ花巻市でも目撃情報が前年度の2.5倍で捕獲数も約5倍となった。今年は60年に一回の十干の「丙」と十二支の「午」の組み合わせて、「情熱的でパワフル」な年といわれている。それでは今年一年を、故菅原清太郎氏が書き示した東方朔秘傳書をひもといてみると「ひのえ、うま年ハ、正二三月日でり、四月半日でり、五六月雨あり、七月日でり、八九月雨風あり、早稲悪し中稲・おく稲半よし、畑吉、半作世の中ハ中の三分なり、」(原文のまま)とあったが、はたしてどんな年になることか・・・。

**第一老人クラブで研修と昼食会を開催**

大瀬川第一老人クラブ(熊谷幸夫会長)は12月6日、九区自治公民館で研修会と収穫感謝祭を兼ねた昼食会を開催し23名が参加した。研修会は花巻市の「ふれあい出前講座」を活用して、花巻市中根子在住の沖村政行さんを講師に招き「脳の活性化と認知症予防について」のテーマで2時間ほどの研修だった。沖村さんは4年前まで小学校の先生をされ、話し方も明快で、今回は算数の面白い計算、円周率100桁の覚え方、年号の早覚えのほか、三角形や円の中の星形の描き方などをペンで描きながら教わった。脳トレには「だったら」「だって」「どうして」を考えることが必要とのこと。講師が自作した立体や箱詰めのパズルを使っの脳トレが時間の都合で出来なかったのが、次回の楽しみとした。その後収穫感謝祭を兼ねた「昼食会」では、お弁当のほか少しのお酒と、女性達にはお菓子を配って、食事やビンゴゲームをして楽しんだ。

**年越祭開催**

12月12日午後2時から天満宮、午後3時から山祇神社にて責任役員・総代19名が揃って年越祭が行われた。祭祀は直町宮司代行で古稲荷神社の小笠原宮司により執り行われ「皆様の繁栄・無病息災をお祈り申し上げます」と挨拶があった。直会は執り行わず酒・おつまみを配布し終了した。

**飲酒運転撲滅全戸訪問を行う**

12月14日交通安全協会大瀬川分会(板垣吉彦会長)は、恒例となっている飲酒運転撲滅全戸訪問を行った。当日は雪が舞う中、大瀬川振興センターに当会役員のほか佐藤交通安全協会石鳥谷支会長、各自治公民館、大瀬川防犯協会、交通指導員ら30名が集合し、A3版の「まだいたの?のんでるひと、のせるひと」ほかA4版のチラシ3枚と、飲酒運転防止「7つの落とし穴」のイラストが刷り込まれたトイレットペーパー1個をセットにして、14班に分かれ地区内